「学びの多様化学校」って何ですか？

学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）の設置者一覧

（文科省のホームページから）

札幌・星槎もみじ中学校を取材したNHKの番組から

ど楽ま スらてや
す。

りたいことを生かした授業やボードゲームを使ってコミュニケーション能力を高める取り組みなども行われています。

全ての子どもに学びを保障するという点では参考になる学校のように思いますが・・・

●ほとんどの人が中身が分からないまま進んでいる

●どんな学校になるのかの本格的検討もこれから

●不登校対策の全市的な取り組みが十分とは言えないなどの課題もあります。

不登校対策として再来年4月に開校

市内の不登校児は、小学生で109人（1・70%）、中学生は243人（6・93%）で、増えてきています。そこで、釧路市は不登校特例校と呼ばれていた「学びの多様化学校」を、R8年4月に開校させることにしました。

学びの多様化学校に定められた学校では、不登校児にあわせ、特別の教育課程を編成して教育を行う学校で学校教育法校」だけで単独の学校として開設することも、分校として設置されることもあります。校舎も単独での設置、別の学校や公共施設の一部を借りて開設など、方式は様々です。

R6年度で全国に公立21校、私立14校が開設されています。

釧路で開設予定の学校は

釧路では北中学校の分校として中央小学校の校舎の一部を借りて開校します。

入学希望の子は、いまの学校から転校することになります。教員は8人。それ以外の先生は北中の先生がきます。一学年の定員は15人です。

<< 学びの多様化学校の特徴 >>

❶授業数が通常の学校より少ないことが多い。
❷午前の開始時間が遅いところもある。
❸音楽・美術・技術・家庭を統合した授業や新しい授業・科目も取り入れている。
❹クラス担任は二人（男女の組み合わせ）
❺登校は必須ではなく学校内の別の場所でも、リモート参加でも構わない。
❻授業は習熟度別に行われる。
❼コミュニケーション能力の向上に力を入れる。
❽給食だけではなく、弁当で校内どこで食べてもいいところもある。
❾授業の最後は掃除ではなく担任との個別の面談。